静岡新聞

2年	視写をしよう
国語	

年　　組　　番　名前

☆見て、写すことを「視写」という。学年全員で、同じコラムの視写をやってみよう。

【視写の方法】

①書き方は、原稿用紙の使い方を守ること。ひらがな、「　」などもそれぞれひとマス使う。
②▼は改行のマーク。コラムでは字数が限られているので、本来は改行して段落替えすべきところを、マークを使って示している。▼の代わりに「。」をつけ、改行して一字下げよう。
③読み仮名をつける。分からないところは家の方に聞く。
④最低限、次の言葉については意味調べをする。
　※繰（く）る　　安否（あんぴ）　　非正規雇用（ひせいきこよう）（非・正規・雇用）　　じっこん（昵懇）
⑤感想を100字以上200字以内で書く。

【評価（評価領域：言語）】

評価基準は以下の通りです。最低でもBを目指して取り組もう。

・A、B、Cの3段階で評価する
・①～⑤が正しくできていればB
・①～③が正しくできていない、字が著しく雑、のものはC
・規定以上に意味調べがしてある、関連記事のスクラップをつける、など+αがあるものはA、またはⒶ（意欲・関心・態度に加点）
　その場合、記事の日付、新聞名、朝刊か夕刊かを書くのを忘れないこと。

コピーを生徒に渡す際、下記の指導アドバイスの部分は消してからコピーしてください。

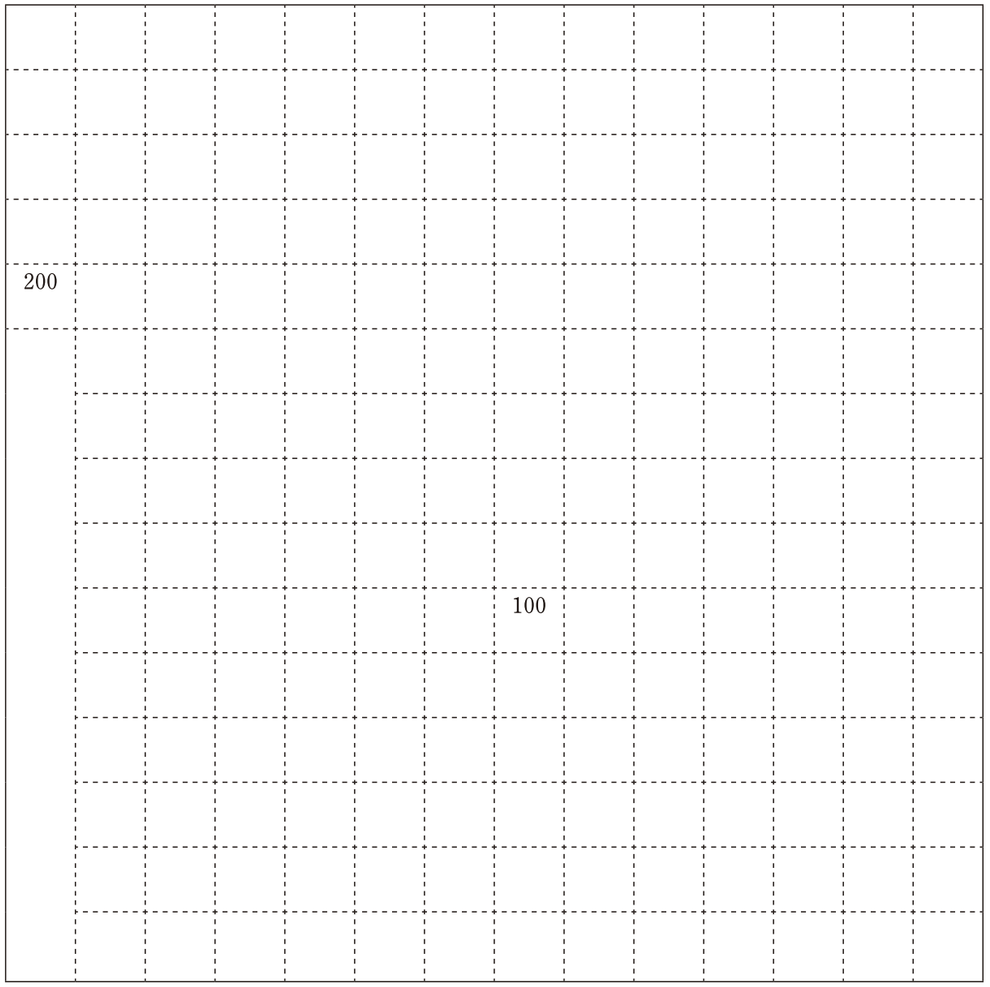
＊指導する先生や保護者の皆様へ（静岡市立籠上中学校・大村友乃）
　コラムに人名、地名等特別な読み方が出てくる場合は、あらかじめ読み方を提示することをおすすめします。
　また、コラムの視写に別途原稿用紙が2枚必要となりますので、その分は各自準備させるか、配布をしてください。

大自在

孤立死、孤独死。紙面をさかのぼって繰れば、既に10年以上前からしばしば使われている言葉である。阪神大震災後、外出もままならない高齢の被災者がだれにも看取られずに亡くなることが相次いだ頃から目立ってきたように思う▼このところ、そのつらい言葉が大きな見出しになっている。なんともやりきれない。立川市の都営アパートで見つかった女性2人は95歳の認知症の母親と、介護していた63歳の娘とみられる。母親の胃に内容物はほとんどなく、娘が先に病死し、母親が衰弱死した可能性がある▼死後1カ月ほどたっていたそうで、安否確認のいきさつが取りざたされている。60代の娘がいるということで、日頃の安否確認の対象にはなっていなかったという▼個人情報の保護やプライバシーにかかわる問題でもある。付き合いを避け、自宅に閉じこもりがちな住人の安否を確認することは難しいだろう。立川市によれば安否確認で部屋に入ったところ、健在だった住人との間でトラブルになったケースもある▼2人の住んでいた都営アパートの自治会代表は命を救えなかったことに涙した。責任感の強い人なのだろう。高齢化に非婚化、そして一人暮らし、今はリストラが加速し、非正規雇用の増加で格差社会が広がっている。善意の伝わらない無縁社会は悲しい▼「向こう三軒両隣」。読んで字のごとく、自宅の向かい側の三軒と左右の隣家で、普段じっこんの間柄になるご近所さんだ。無縁社会を〝有縁社会〟へと変えるには、やはりご近所さんの復活しかないだろう。

2012.3.10

感想用紙



年　　組　　番　名前